

CSR REPORT 2023

茨城トヨペット CSRレポート 2023



PROTOTYPE PRIUS (1995)

Toyopet

since1956

茨城トヨペットは、国連が掲げる「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、持続可能な社会の実現に向けて真摯に取り組んでいます。



「SDGs(エスディーゼーズ)」とは、「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称で、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない(leave no one behind)」ことを誓っています。

さまざまな分野にまたがる国際社会共通の課題に対し、国や政府だけでなく、企業や市民一人ひとりがSDGsを自分のこととして考え行動していくことが大切です。



この冊子は、計画的に植林された木材から生産された用紙に環境負荷の低いベジタブルオイルインキを使用して印刷されたものです。



茨城トヨペットのSDGsへの取り組み

CSR

CSR = 「企業の社会的責任」

CSRとは、企業が利益を追求するだけでなく、社会や環境へ与える影響に責任を持ち、企業に関わる全ての人たちからの要求に対し、企業として適切に応えることです。

編集方針

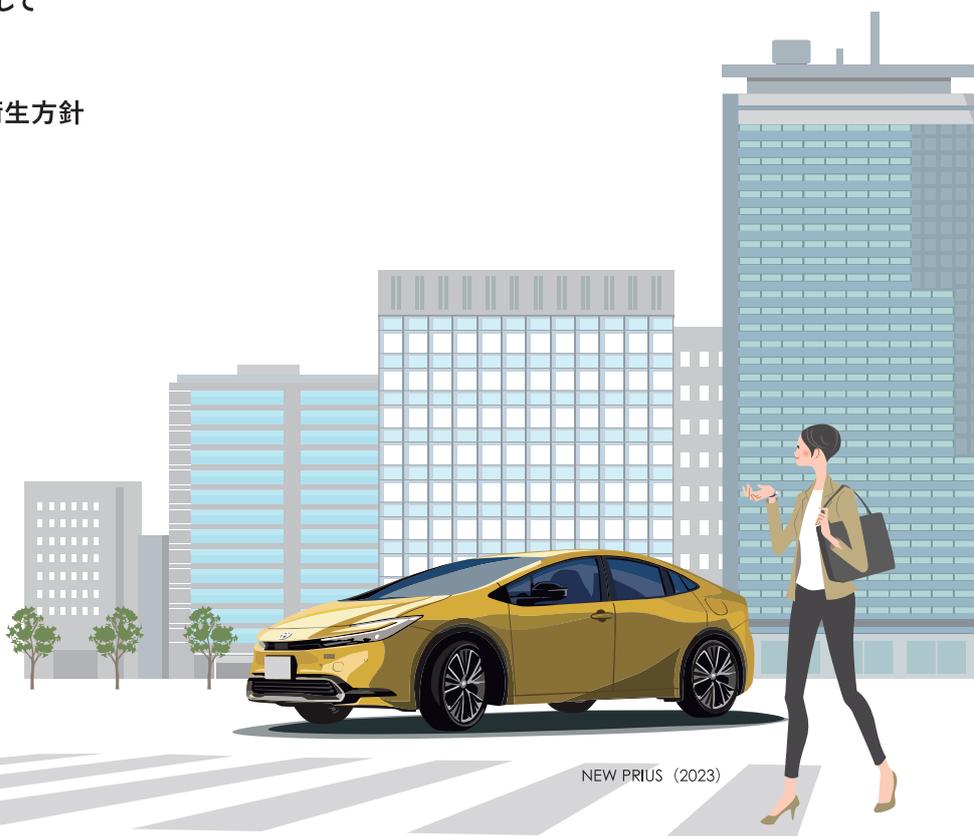
本レポートは、茨城トヨペット株式会社のCSR(企業の社会的責任)に関する取り組みを、“お客様”“地域の皆様”“取引先”“社員”の4つのステークホルダーの皆さまに対しわかりやすい取り組み報告となるよう努めました。CSRの取り組みは、皆さまとの対話なしには成り立ちません。本レポートをコミュニケーションの一助としてお読みいただき、巻末のアンケートフォームからご意見をお寄せいただければ幸いです。

CONTENTS

CSR REPORT 2023

茨城トヨペット CSRレポート 2023

- 04 **トップ・メッセージ**
日本一「ありがとう」で溢れる会社を目指して
- 06 **茨城トヨペットは女性社員が活躍している会社です。**
社員への取り組み
- 08 **持続可能な発展を実現する社会をめざして**
CSR活動推進体制 / CSRの3本柱
- 09 **CSR基本方針／環境方針／労働安全衛生方針**
4つのステークホルダーから必要とされるために
- 10 **社会貢献**
これからも、地域に密着した企業市民として
- 14 **特集／クルマが納車されるまで**
ご注文のおクルマのご納車までのプロセス
- 15 **環境保護**
地球環境の保護と豊かな社会を実現するために
- 20 **店舗一覧・会社概要**
県内全域に及ぶ安心のネットワーク
- 22 **ご意見・ご感想**
お客様から寄せられたメッセージ



茨城トヨペット株式会社
代表取締役社長

幡谷
俊一郎

日本一「ありがとう」で溢れる会社を目指して

茨城トヨペットCSRレポート2023をご覧くださいありがとうございます。

今、私たちがこうして活動できるのも、長きに渡りご愛顧いただいているお客様、取引先の皆様、地域の皆様、そして共に働くメンバーのご理解とご協力によるものと存じ、心から感謝申し上げます。

昨年6月の社長就任以来、新型コロナウイルス感染症や世界情勢による物価高騰などの様々な社会的問題に直面しながら、地域社会の活性化・自然保護・文化的貢献など企業の社会的責任(CSR)を果たしていきたいという想いをあらためて感じています。

◆新しい空間がメンバーの意識を変えた

私たちは1956年11月の創業以来、地域の皆様と共に歩みながら、様々な取り組みにチャレンジして参りました。その中で、2012年の神栖知手店オープンからの取り組みとして、お一人でもご家族のお客様でも誰もが快適にお過ごしいただけるような席の配置を考えるとところから始まった「店舗のリノベーション」があります。

当初、この取り組みは、それまでの訪問型から来店接客型への転換を目指すためのものでしたが、社内では意見が分かれました。

しかし、リノベーション実施後は、お客様の反応はもちろんのこと、新しくなったお店がメンバー一人ひとりの意識の変化を呼び起こし、結果的により相應しいおもてなしを自ら考えるようになりました。そして、メンバー間で会話をし、実践するようになるという嬉しい効果もありました。

それと同時に、「心地よい空間を作ること」と「変化をお客様へ伝えること」を並行して進める必要があると考え、CIや制服を含めたブランドイメージの刷新、それらを発信する新たな部門を設立して取り組みを始め、今現在も積極的に活動しています。

また、直接届きづらかったお客様の声を聞いたり、新しいサービスを提供する新たな部門としてカスタマーコンシェルジュ室を設立しました。

カスタマー(お客様)が声に出しにくい、小さな見えない不満を聴くことから始めた部門ですが、お客様と私たちの厚い信頼関係を築く機関として、クルマのことなら

絶対安心だねと言っていただける存在となり、さらに今までのサービスの域を超えることを目指していきます。

◆地域の人たちと一緒に楽しもうという姿勢

世界は今、「SDGs」という持続可能な社会を実現するための共通目標を持っていますが、私たちは2002年に茨城県内の自動車販売会社で初めてISO14001の認証を取得し、今現在も環境対策を推進し続けています。

1976年より続く「ふれあいグリーンキャンペーン」や、県内各地の清掃を地域の皆様と一緒に行った「トヨタソーシャルフェス」もその活動の一環です。これらの活動は非常に価値のある取り組みですが、今後もっと光り輝く存在になっていくことでしょう。

また、イベントの開催や協賛、車両提供などでの地域の皆様とのふれあいは、私たちにとって大切な時間でもあります。

これまでも様々な社会貢献活動を続けてきましたが、これからは更に地域に根付いた活動を追求していきたいと思っております。

例えば、昨年7月に行われた城里町での「星空見学会」や今年1月の笠間市での「田んぼでタグラグビー」など、新しい形で地域と繋がるイベントが徐々に実現し始めています。いずれも社会貢献としてよりも、地域の人たちと一緒に楽しもうという姿勢で進めておりましたが、結果的にお役に立つことができ嬉しく思っています。今後も店単位、地域単位での取り組みを精力的に続けて参ります。

◆女性が働きやすい環境とは

男女ともに子育て等をしながら働き続けることができる雇用環境の整備が注目される中、私たちは以前から環境整備に取り組んで参りました。

産前産後休業の制度を利用したいと思っているメンバーに対して会社として全力でサポートしていく姿勢でおります。

産休だけでなく、子育て期間中には土日に休みた

いという要望もあります。サービス業なので休みづらい状況はありますが、この問題にもきちんとコミットして、男女問わず子育て時期のメンバーが休みを取りやすく働きやすい環境を整備したいと思います。

自動車販売業は一般的に男性社会と見られていますが、私たちも例外ではありません。現在の社員数は男性85%、女性15%の割合です。女性が働きやすい環境とは女性がたくさんいることだと考えています。そのため、将来的には女性の割合を30%まで引き上げるつもりです。

もっと女性が意見やアイデアを出しやすくリーダーになりやすい環境を作るためにも、女性の比率を上げていくことが喫緊の課題です。

◆お互いの価値を尊重できる風土を

私たちは新入社員時から中堅・管理職まで、キャリアに応じた社員教育や研修を実施し、社会に必要とされる人材の育成に力を注いでいます。

今後、組織の男女の比率が変化し、多様な価値観や考え方を持つ人々が同じ職場で働く機会が増えることが予想されます。そのため、今まで以上にメンバー同士がそれぞれの多様性を受け入れ、価値を尊重できるようになることが求められるでしょう。その上で、本気で話し合える社内の風土を作っていくことが、茨城トヨペットをより良い会社にするに信じています。

そして今、私たちは日本一「ありがとう」で溢れる会社を目指して挑戦し続けています。メンバーにはそれに共感し、楽しんでほしいと願っています。

現在、自動車業界は大きな変革期を迎え、最新鋭の次世代自動車が続々と開発・リリースされています。私たちは常に前向きに学び、改善し、組織全体もブラッシュアップしていく必要があると考えています。

今後も私たちは「お客様のため、地域社会のため、取引先のため、メンバーのため」に何ができるかを徹底的に追求して参ります。

茨城トヨペットは女性社員が活躍している会社です。

「自動車ディーラーは男性の職場」というイメージがありますが、茨城トヨペットはレセプションスタッフ・フロアコンサルタント・セールスコンサルタント・サービスエンジニア・本社スタッフなどあらゆる場面で女性スタッフが活躍している会社です。

- ①現在の仕事内容を教えてください。
- ②仕事を通してやりがいや、嬉しかったことは何ですか？
- ③仕事とプライベート（家庭・趣味など）の両立のために心がけていることは何ですか？
- ④仕事をする中で、最も大切にしていることはなんですか？
- ⑤これから挑戦したいこと・やってみたいことはありますか？



セールスコンサルタント ひたち野うしく店 和田スタッフ

- ①ひたち野うしく店でセールスコンサルタントをしております。車の販売はもちろん、金融商品・各種保険商品・携帯電話なども取り扱っております。お客様の身近な存在として、より豊かなカーライフをご提案しております。
- ②お客様のお役にたてるよう仕事をする中で、“ありがとう”の言葉をいただける時が一番うれしいです。思うようにいかず、くじけそうな時もありますが、努力が結果で返ってくる仕事なので、とてもやりがいを感じています。
- ③仕事と休日の切り替えをきちんとしております。休日のドライブが好きで、休みの前日は早く帰社できるように事前準備とスケジュール管理をしっかり行います。仕事への不安も少なくなり、自信をもってお客様と向き合うことが出来ていると思います。
- ④一番大切にしていることは、チームワークです。同じ環境で働く中で助け合うことはとても大切だと知りました。そして、店舗のスローガン『E・T・O』です。笑顔のE。提案のT。思いやりのO。思いやりのある笑顔のご提案を心がけています。
- ⑤年次でトップセールスとして、表彰されることを目標にしています。昨年は悔しい思いをしました。その悔しさをエネルギーに変えて日々精進して参ります。食べることも大好きなので、プライベートでは北海道旅行へ行きたいです。そのためにもトップセールスを目指します。



サービスエンジニア アートタワー水戸店 草野スタッフ

- ①主に車検や点検、一般整備を行っています。今はお客様にタブレットを見せながら説明し、受付から引き渡しまでを行っています。
- ②お客様にお車を引き渡した際に、車がキレイと喜んでもらえた時や、飛び込みの作業を自分から引き受けて“ありがとう”と言われたときは嬉しかったです。一般整備を行った際、元の状態に戻って正常に車が動くようになったときは整備士としてやりがいを強く感じます。
- ③やる事を常に頭の中で整理しています。休日は、休養の日とアクティブに動く日を体調等に合わせメリハリつけて過ごしています。
- ④男性が多い職場のため、私自身も男性の心を持ちながら仕事をするという心構えをしています。強い気持ちでいれば出来ないことも出来る気がするからです。与えられた仕事をするだけではダメだと思いますので、手が空いた時や仲間が困っている時は自分から助けられる事は何でもやろうという気持ちを大切にしています。あとは「気合と根性、周囲をよく見る」ことを毎日意識して仕事をしています。
- ⑤故障診断など今までにやったことがない整備に挑戦したいです。そして、技術力アップだけでなく、頭を使ってさらに車の知識を習得していきたいです。



レセプションスタッフ 水戸千波店 青柳スタッフ

- ①水戸千波店でレセプションスタッフをしています。来店されたお客様の対応や、セールスコンサルタントのサポートとして、試乗やお見積りの作成を行うこともあります。
- ②お客様と一緒に働くスタッフから、“ありがとう”という言葉を書いて貰えると嬉しいですし、やりがいも感じる事が出来ます。
- ③仕事と家庭の両立が出来ているのは、お店のスタッフのサポートがあるからです。子供がまだ小さいので、時に迷惑をかけてしまうこともありますが、いつも理解してサポートしてくれるお店のスタッフのため、限られた時間の中で自分にできる事をしようと心がけています。
- ④自分の業務だけでなく、視野を広げてお店全体のことを考えられるようにしようとは思っています。それぞれの職種でお互いにサポートし合うことで、お店のチームワークも良くなり、結果的にお客様に対するサービスの質も上がると思うからです。
- ⑤これからも、娘たちとの時間も大切にしながら、仕事も頑張っていきたいと思っています。



本社 カスタマーコンシェルジュ室 倉石スタッフ

- ① 本社のカスタマーコンシェルジュ室でお客様サポートデスクを担当しており、電話対応の仕事をしています。納車後や点検後のお礼のご連絡などを通じて、当社に対する期待や要望など“お客様の声”を直接伺っています。
- ② お客様から伺ったお話が社内で共有ができ、確実に届けられたと実感する時。それに対して“ありがとう”と言って下さる会社のメンバーの優しさに触れた時、私達が心から応援している店舗のメンバーの事を、お客様が喜んでお話しして下さるのを伺っている時にやりがいや嬉しさを感じます。
- ③ 仕事では会社のメンバーに支えられ、プライベートでも子供たちと一緒に会社のイベントにも参加させて頂いたり、とても充実しているので、私が役立てる事を積極的に取り組む事です。休みの日に全てを忘れて楽しめるのは仲間のおかげと感謝しています。
- ④ お客様や仕事仲間と誠実に向き合う事です。その姿勢をもって心を込めた対応をし信頼していただけるように励みます。
- ⑤ 忙しくてなかなか読むことが出来ない小説を、ゆっくり読みたいです。サン・テグジュペリの星の王子さま、江戸川乱歩の怪人二十面相。小学生の子供の為に購入しましたが、読んでくれないので、私がじっくり楽しみたいです。あとは健康のため、何か運動も始めてみたいです。話し方(コミュニケーション)講座にも行ってみたいです。

社員への取り組み

それぞれが個性を活かし、イキイキと働ける環境を作るために

茨城トヨペットでは、きめ細やかな独自の教育、研修システムを導入し、社員一人ひとりの個性と人間性を活かした能力開発を推進しています。そして、社員が充分に実力を発揮できる環境をさまざまな角度から検討し、構築しています。

「人の成長」に重きを置いた採用・研修

茨城トヨペットでは、『求める人材像』を明確にすることで、社会に必要とされる人材の採用・育成に力を注いでいます。入社前研修では社会人としての考え方や仕事の流れを伝え、入社後も、求める人物像を目指した研修を段階的に実施。特にコンプライアンスや法令知識等は、社内の専門部署から講師を招き、社会人に必要な講義を展開しています。さらに、中堅～管理職を対象とした階層的な研修も、時代のニーズに合わせて再構築を実施するなど、「人の成長」に重きを置いた研修システムを構築しています。

1年次 20歳～22歳	●メンタルヘルス【基礎】 各種ストレスに対するセルフケアのポイントを理解する
2年次 21歳～23歳	●CSマインド お客様満足度(CS)を高める為に必要な考え方と実践ポイントを理解する
	●キャリア・プランニング 自分の可能性を広げる為のキャリア形成に関する基本的な考え方を身につける
3年次 22歳～24歳	●コミュニケーション強化【知識】 ビジネスコミュニケーションの基本を身につける
4年次 23歳～25歳	●キャリア・メイキング キャリア開発に必要な考え方とスキルを習得し、これからのキャリアビジョンを考える
5年次 24歳～26歳	●思考力向上 ビジネスパーソンに必要な論理的な思考能力を身につける
	●中堅社員研修 セルフコントロール手法とリーダーシップについて学ぶ
30歳～40歳前後	●キャリア・ディベロップメント 自分の中核能力を理解し、今後どのように組織に貢献できるかを考える
45歳～50歳前後	●キャリア・デザイン【I】 自立に向けた10年後の職場生活を踏まえたキャリア開発のシナリオ作りの知識と技術の習得を目指す
55歳～	●キャリア・デザイン【II】 定年後も再雇用される為に必要な現有能力を確認する 年金の基礎知識、再雇用チャレンジ制度についての理解を促進する

■管理職(店長、GM、課長、サービスマネージャー)対象の教育研修は別に定めています。

ワーク・ライフ・バランスの推進

組織の活性化と総労働時間短縮を図るための勤務体系づくりとして、本社では「フレックスタイム勤務」、営業店舗では「時間差勤務」を導入しています。

また「働き方改革」に先駆けて、2017年8月より「計画年次有給休暇制度(年間6日間)」を導入しています。計画的に有給休暇の申請をする事で家族や友人と旅行に出かけるなど、心身の疲労感をリフレッシュする良い機会として活用されています。このように、仕事と生活のバランスのとれた「ワーク・ライフ・バランス」の実現を推進しています。

「子育てサポート企業」として くるみんマークに認定

次世代育成支援対策推進法に基づき、一定の基準を満たした企業は「子育てサポート企業」として、厚生労働大臣の認定(くるみん認定)を受けることができます。この認定を受けた企業の証が、「くるみんマーク」です。茨城トヨペットでは2016年2月に認定を受けています。



ハラスメントの防止

パワハラ・セクハラ等、個人の尊厳を不当に傷つける行為は絶対に許さない決意「ハラスメントは許しません!!」を全社に宣言しました。

当社の求める人材像

常に豊かな人間性と向上心を持ち、社会の発展に貢献できる人材へ

- ① 短期的視点に限らず、中長期的な視点で仕事に取り組める力!!
- ② 人と人のつながりを大切に、自ら考え主体的に行動できる力!!
- ③ 幅広い見識を持ち、常に前向きにチャレンジできる力!!

持続可能な発展を実現する社会をめざして

私たちは、事業の特性を活かした車両提供、盲導犬の育成協力など、茨城トヨペットならではの特徴的な活動を実施するほか、スポーツ・教育支援活動など、地域との共生を図る様々な活動も行っています。

こうした活動を持続的に行うことは、私たちが事業活動を営む重要な基盤になっています。

私たちが住む地球は、地域固有のものから世界規模に至るものまで、さまざまな環境問題に直面しています。それらが深刻化していく中で、多くの企業が持続可能な社会の実現に向けた取り組みを行っています。

私たち茨城トヨペットは、企業活動における環境負荷削減・環境リスク低減を通じて、持続可能な社会の発展と地球環境保全に貢献していきます。



代表取締役会長 幡谷定俊

茨城トヨペットが実践するCSRの3本柱

1 コンプライアンス

法令・社会的規範への対応 人権、消費者への対応 公正なビジネス慣行

お客様の身になって考え、行動していく

【コンプライアンス】とは法律や規則などに従って、活動を行なうこと。「法令遵守」を意味する語として最近広く使われていますが、私たち茨城トヨペットは、法令遵守を含めた「社会からの要請」へ応えていくことが肝要と考えます。お客様のお役に立ちたい、社会全体のお役に立ちたい、皆さんの喜ぶ顔が見たい、そのために、コンプライアンス、公正・透明性の確保に取り組んでいきます。

2 環境対応

環境保護活動への対応 環境マネジメントの全社運用

次世代へ残す地球環境への提言

地球の温暖化、オゾン層の破壊、大気汚染、水質汚濁など、今や企業にとって環境問題は避けて通ることはできません。

私たち茨城トヨペットは環境マネジメントの国際規格【ISO14001】に取り組むことにより環境保護活動を推進し、『プリウス』をはじめとする環境負荷の低いHEV・PHEV・FCVなどの電動車の普及に努めていきます。



ISO14001登録証

3 社会貢献活動

コミュニティ参画 地域活動支援 環境活動を通しての社会貢献

健全で持続可能な地域社会づくり

私たち茨城トヨペットは、地域の皆様に愛され続ける企業であることを宣言いたします。上記の地球環境を見据えた環境マネジメントシステムISO14001全事業所認証取得に向けた継続的な活動、茨城エコ事業所登録制度への全店舗認定。

1976年から毎年続いているふれあいグリーンキャンペーンでは県内の各自治体に3,900本以上の苗木を寄贈し続けています。

「環境・地域」愛。それが、私たち茨城トヨペットです。



茨城トヨペットのCSR活動推進体制

CSR活動を推進するために、2006年4月に社長を委員長とする「CSR委員会」を設置し、本社を中心に各販売拠点等を含めた取り組み方針の決定やCSR活動のレビューを実施しています。また、同時にCSR委員会の下部組織として、社内の代表メンバーで構成する「CSR事務局」を設置しています。



4つのステークホルダーから必要とされるために

CSRとは、企業が利益を追求するだけでなく、社会や環境へ与える影響に責任を持ち、企業に関わる全ての人たちからの要求に対し、企業として適切に応えることです。

私たちにとって社会的責任を果たすこととは、お客様、地球・地域社会、取引先、社員の4つのステークホルダー※のニーズを満たし、満足度を高めることと考えています。

企業価値を高め、「地球・地域社会から愛され、選ばれる存在・必要とされる存在」であり続けるために、社会とともに持続可能な発展を目指します。



※ステークホルダー：企業に対して利害関係を持つ人のこと。お客様や社員、株主だけでなく、地域社会までも含めている場合が多い。

CSR基本方針／環境方針／労働安全衛生方針

社是

「誠実」	約束を守ること	関係法令を遵守し公正な企業活動と環境保全を行います。
「親切」	気を配ること	社会、ステークホルダーと調和し、信用を第一義とした企業活動を行います。
「スピード」	時間を大事にすること	既存の常識や枠組みにとらわれることなく新たな可能性にチャレンジします。

行動憲章

【お客様に対して】

- 私たちは、【お客様と一生涯“笑顔”のおつきあい。】【カーライフの“快適”と“安全”でお役立ち。】の基本理念に基づき、お客様に真に満足頂ける優れた商品とサービスの提供に努めます。
- 私たちは道路運送車両法、消費者契約法、自動車公正競争規約など関連法令およびその精神を遵守し、お客様に信頼される営業活動を推進します。
- 私たちは、個人情報保護法及びその精神を遵守し、お客様の個人情報保護の徹底に努めます。
- 私たちは、お客様の要請・期待に応えることを第一と考え、公正で誠実な対応を実践し、お客様との絆を深めます。

【社会・環境に対して】

- 私たちは、環境目的・目標を定めて継続的に環境改善に努め、事業活動を通じ地球環境・地域社会との調和ある成長を目指します。
- 私たちは、省エネ・省資源・リサイクルの推進により廃棄物を削減し、環境保護と汚染の予防に努めます。
- 私たちは、社会・経済の要請に応え、法令等を守り、「人間性尊重」の経営を実践します。
- 私たちは、コミュニティの成長と豊かな社会作りを目指し、社会貢献活動を積極的に推進します。
- 私たちは、交通安全対策へ積極的に取り組みます。

【取引先に対して】

- 私たちは、取引先を尊重し、長期的な視野に立って相互信頼に基づく共栄共存の実現に取り組みます。
- 私たちは、独占禁止法、下請法をはじめとする関連法令およびその精神を遵守します。
- 私たちは、社会通念の範囲を超える利益の供与、申し出、約束をせず、自由で公正な取引を維持します。

【茨城トヨペットのメンバーに対して】

- 私たちは、安全で健康的な職場環境作りに努めます。
- 私たちは、労働関連法令を遵守すると共に必要な自主基準を設け管理レベルの向上を図ります。
- 私たちは、継続的な安全衛生水準の向上を目指し、『作業手順書』に沿った作業の遂行を徹底します。
- 私たちは、危険ゼロ・健康障害ゼロを目指すために、危険性又は有害性等を調査し実施事項を決定して、事故・労働災害の未然及び再発防止を図ります。
- 私たちは、メンバーが生き生きと働けるように、相互信頼・相互責任の精神にのっとり、互いを思いやり、それぞれの考え方や立場を尊重します。
- 私たちは、メンバーが誠実に仕事に取り組み、新しい価値の創造を目指すことができるよう、個々人の自己啓発・成長を支援します。
- 私たちは、機密情報を厳重に扱うとともに、適時的確な情報開示に努めます。

令和4年6月1日
茨城トヨペット株式会社
代表取締役社長 幡谷 俊一郎

社会 貢献

これからも、地域に密着した企業市民として

茨城トヨペットは、企業市民として各事業所周辺の皆さまとの交流を深め、地域社会の活性化、自然保護、文化的貢献など幅広い方面での社会貢献を追求しています。今後も、地域市民の皆様の声に耳を傾け、より豊かなまちづくりのため、地域市民の皆様とともに積極的な活動を進めます。



城里町で星空観察会を初開催



2022年7月24日(日)、城里町七会町民センター「アツマーレ」で星空観察会を開催し、参加の皆様とともに満天の星空を満喫しました。

旧七会中学校を利活用し、老朽化した支所・公民館・バーベキュー施設の機能を1か所に集約した複合施設「アツマーレ」は、電線や街灯が少なく、きらめく星空が広がる星空スポットでもあります。

今回、水戸ホーリーホック様、一般社団法人城里町開発公社様の協力を得て、開催いたしました。参加した9組約40名のご家族は、日没前に火お

こしやマシュマロ焼き、丸太アートなど、大自然の中で様々な体験を満喫。星空になるまで町内の温浴施設「ホロルの湯」特製の「ホーリーホック応援弁当」や七会きのごセンターのきのこを使用したホイル焼きなどを堪能しました。

日没後星空になると、城里町星空観察会様が用意した6台の天体望遠鏡で、ヘルクレス座にある球状星団M13、さそり座の尻尾のすぐ左上にある散開星団M7、七夕の織姫星として有名なこと座のベガなどを観察しました。

鹿島アントラーズ サッカー教室を開催



2022年9月25日(日)、鹿島アントラーズ様からトレーナーを招いて茨城県内の小学生対象のサッカー教室を開催いたしました。

会場は鹿島サッカースタジアム近くのト伝の郷運動公園。約50名の小学1年～6年生の子どもたちが参加しました。晴天の下、1・2年生グループ、3・4年生グループ(サッカー未経験者)、5・6年生グループ16名(サッカー経験者)に分かれてサッカーを楽しみました。

第20回茨城トヨペット杯 小学生ドッジボール大会を開催



参加する全員が競技を通してひとつの目標を掲げ努力し、子供たちの健全な育成を目指すことを目的としてドッジボール大会を毎年開催しています。

2023年3月26日(日)に水戸市のリリーアリーナMITOで行われた今大会も熱く・楽しく・激しい戦いを繰り広げました。結果は以下の通りです。

チャンピオンシップの部 優勝:赤塚RESPECT
子ども会・フレンドリーの部 優勝:中村ファイターズ
キッズの部 優勝:赤塚RESPECT kids

第7回 水戸黄門漫遊マラソンに協力



2022年10月30日(日)、第7回水戸黄門漫遊マラソンが開催されました。

水戸市の中心部、水戸駅から約5分のスタート地点から、日本三名園のひとつ「偕楽園」や「千波湖」などの水戸の名所や自然豊かな郊外を巡るコースです。

茨城トヨペットも車両提供で参加し、ランナーの皆さんと一緒に大会を盛り上げました。



第2回 田んぼでタグラグビーin Kasama に協力



2023年1月29日(日)、笠間市ラグビーフットボール協会様主催の「第2回 田んぼでタグラグビーin Kasama」に協力し、参加の皆様とともに稲刈り後の田んぼでタグラグビーを楽しみました。

コロナ禍で閉塞感が漂うスポーツ界において新しい感覚の大会を開催することで、スポーツを通しての健康増進を図るとともに、農業地域の特色を生かした新しい形の取り組み方を創出する機会とする趣旨として「田んぼでタグラグビー in kasama実行委員会」は活動しています。

この日は約6千平方メートルの田んぼに設けられた7面のコートで、4～53歳の約200人が泥だらけになりながらプレイしました。各コートの優勝チームには牛肉や地元米が贈られました。

茨城トヨペットは、「給電トヨペットカフェ」と称し、HEV車シエンタから電気を取り、沸かしたお湯で珈琲やココアなどのホットドリンクを参加の皆様へご提供いたしました。

また、ラグビー女子日本代表で茨城トヨペット所属の大塚朱紗選手もゲストとして駆け付けました。

つくばサイエンスコラボ2022に 出展



2022年11月12日(土)につくば市およびつくば市教育委員会が主催する「つくばサイエンスコラボ2022 科学と環境のフェスティバル」が開催されました。同イベントは、教育・研究機関や市民団体、企業などが出展し、体験を通じて科学や環境について学ぶイベントです。

茨城トヨペットのブースでは、FCEV MIRAIからの電源供給による電気機器の実演や、EV C+PODの展示、C+Walk体験試乗などを行いました。

第3回 スマイルサーキット ミーティングを開催



2022年11月6日(日)に筑波サーキット コース1000にて第3回 スマイルサーキットミーティングを開催いたしました。

このイベントはサーキット走行常連の方だけではなく初めての方も安心して楽しく走行出来るアットホームな雰囲気の走行会です。

多数のGR車両の展示や、有名プロレーシングドライバーによる無料レクチャーなどイベント盛りだくさんで大変盛り上がりました。

グランツーリスモ トヨペットGRカップ2023を開催



グランツーリスモ トヨペットGRカップ2023のセミファイナル・グランドファイナルが2023年2月19日(日)、イオンモール水戸内原店内イオンホールにて行われ、大盛況のうちに幕を閉じました。

茨城トヨペットは今後も産業創出の一環として世界各国で盛り上がりを見せているe-Sportsの活用を推進し、e-Motorsports(グランツーリスモSPORT)を通じて地域の活性化に貢献する活動を続けて参ります。

防災イベント 地域防災アカデミー 土浦荒川沖店・古河東牛谷店で開催



2022年10月15(土)・16(日)開催
会場:茨城トヨペット 土浦荒川沖店
協力:ak park つくばセルフ防災ラボ 橘 敦子 様
一般社団法人 茨城ワクドクラブ推進事務局



2022年11月19(土)・20(日)開催
会場:茨城トヨペット 古河東牛谷店
協力:古河市役所 消防防災課 石井様 井樋様 高野様
一般社団法人 茨城ワクドクラブ推進事務局

茨城トヨペットが開催する「地域防災アカデミー」は、お客様に対し能動的に防災に取り組み、危機管理意識を高め、いざという時の避難場所としてクルマを活用する方法を知っていただくことを目的としています。

本年度は2022年10月に土浦荒川沖店、2022年11月に古河東牛谷店で開催いたしました。

土浦荒川沖店では災害対策の基本と命を守る5つの要素等、古河東牛谷店では水害が迫ったときの行動を考える等、地域ごとにテーマを決めて学習し、クルマでの避難を想定して非常食の試食や車中泊体験、クルマの活用術なども学びました。

防災の基礎知識を家族で楽しく習得でき、日ごろの防災対策を見直すきっかけになるこのイベントは、日常における防災・減災への意識を高めてくれるものと考えています。

救命教育・AED体験会を アートタワー水戸店で開催



2023年3月18日(土)、アートタワー水戸店にて、NPO法人いばらき救命教育・AEDプロジェクト 立川法正医師をお招きし、「救命教育・AED体験会」を開催いたしました。小学生から大人まで40人が人が倒れた時の安全確認やAEDの倒れた時の安全確認や使用までの流れ、心停止などの状況判断を学び、AEDの操作や心肺蘇生トレーニングキットを使って胸骨圧迫なども実践しました。

AED(自動体外式除細動器)を 全店に設置



茨城トヨペットでは、ご来店いただいたすべてのお客様が安全、安心かつご不便なく快適に店内をご覧いただけるように、ご高齢の方や体が不自由なお客様はもちろん、どなたでも安心してご来店いただきご相談できるお店づくりを実践します。

また、全店にAED(自動体外式除細動器)を設置し、お客様や社員の安全確保に努めています。

セーフティーキャンペーン を毎年実施



茨城トヨペットの各店舗では、もしもの時の災害に備え地域の皆様のお役に立てるよう、非常用保存水を備蓄し、自然災害発生時、被災地への支援に備えております。

また、9月の防災月間には備蓄した飲料水と「家とクルマの防災ブック」をご来店のお客様にお配りしております。



トヨタ未来スクールを実施 (旧トヨタ原体験プログラム)



「クルマまるわかり教室 パソコン版」は、クルマと環境・経済の関わりをゲームで体験し、内容を振り返りながらSDGsとの関わりや取り組み事例について学ぶ、トヨタ未来スクールの小学4・5・6年生向けプログラムです。

2022年9月14日(水)、取手市立取手西小学校(5年生)がクイズや映像を通してクルマと環境・経済の関係やクルマの基礎知識について学習し、考えたこと、気づいたことを発表しました。

幼児向け交通安全教材の 贈呈



社会貢献活動の一環として県内のご希望いただいた幼稚園や保育所に、交通安全の大切さを楽しく学べる教材をプレゼントしています。

本年度は交通安全絵本「クックのこうつうあんぜんえほん『おまつりにいこう』」を寄贈。

絵本は道路への急な飛び出しや幼児の一人歩きの危険性を、ひよこをモチーフとしたキャラクター「クック」を用い、分かり易く説明したものです。

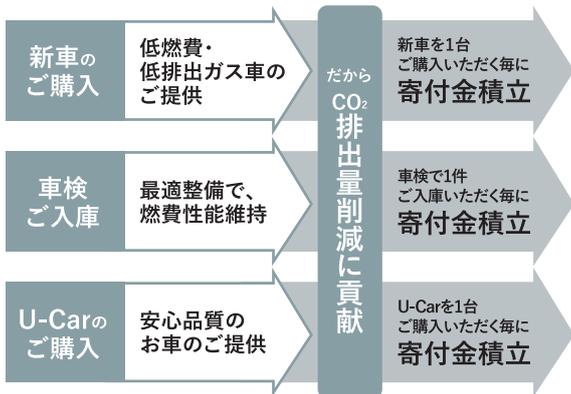
季刊情報誌「さんさん」 発行



茨城トヨペットでは、ユーザーの皆様へ、車についての知識、関心を深めたいいただきますとともに、楽しく快適なカーライフをお送り頂くことを目的に、季刊情報誌「さんさん」を刊行し、希望のお客様に郵送しています。本冊子は茨城トヨペット各店のショールームでも無料配布しております。また、「さんさん」のバックナンバーは、茨城トヨペットホームページにてご覧いただけます。

イベント・出張授業などをご希望の方は、巻末の応募フォーム(QRコード)からご連絡ください。担当者からご連絡させていただきます。

「盲導犬育成基金」を積立て(公財)日本盲導犬協会へ寄付



集まった積立金を「盲導犬育成基金」として(公財)日本盲導犬協会へ寄付



各店舗には募金箱も設置しております。

茨城トヨペットでは「車両ご購入」「車検ご入庫」1台ごとに売上の一部を盲導犬育成基金として積立てております。ご購入いただきました皆様も「CO₂の削減に貢献する車を普及」させると同時に積立金を通じ盲導犬の育成にご協力いただいております。

皆様のご協力により、当社の基金でこれまでに12頭の盲導犬がデビューしています。

2021年度は積み立てられた盲導犬育成基金・募金2,991,800円を寄付いたしました。ご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました。

今後も「盲導犬育成基金・募金」へのご理解・ご協力よろしくお願いたします。

もっと身近に盲導犬を知ろう

目の見えない人・見えにくい人が安全に、かつ快適に外出してもらえるように。また、誰もがもっとユーザーと盲導犬に理解と愛情を持って見守り、全ての人が幸せな世の中になることを願っています。



盲導犬新ユニット出発式

2023年2月24日(金)に横浜市 新横浜グレイスホテルにおいて、「盲導犬新ユニット出発式」が行われました。このイベントは、盲導犬ユーザー様が新たにユニットを組む盲導犬と各自自宅から「一人で行ったことのない」会場までお越しになり、盲導犬とともに歩む実感を改めて得る機会となります。

3年ぶりとなる今回は、遠くは富山・大分からの参加を含め10組の新ユニットが参加し、喜びを分かち合いました。

盲導犬の一生 盲導犬の育成をはじめとした事業は、沢山のボランティアと皆様からのご支援によって支えられています。



誕生～2ヶ月

誕生

健康で盲導犬に向けた性格の両親から、盲導犬候補の子犬が誕生します。約2ヶ月まで母犬・兄弟姉妹と暮らします。



2～12ヶ月

ベビーウォーカーと暮らす

ベビーウォーカーと呼ばれるボランティアの家庭で愛情に包まれながら育ち、社会や家庭の中で暮らすためのルールを学びます。



1歳～2歳

訓練

訓練センターへ戻り、基本訓練・誘導訓練を開始します。盲導犬に向いていると判断されると、目の不自由な人との共同訓練へと進みます。



2～10歳

盲導犬

共同訓練が終え、目の不自由な人と盲導犬との新しい生活がスタートします。その後も定期的に担当訓練士がフォローアップを行います。



キャリアチェンジ犬

盲導犬にならない犬は、啓発活動を行う盲導犬PR犬や、一般の家庭でペットとして暮らすなど、それぞれの性格にあった道に進みます。



10歳～

盲導犬の引退

まだまだ元気な年齢で引退し、引退犬飼育ボランティアの家で過ごします。引退犬のための施設でのんびり過ごす犬もいます。



盲導犬をはじめとする補助犬の受け入れをスムーズに行い、身体障がい者の社会進出と自立を促進することを目的として定められた「身体障害者補助犬法」は、補助犬と一緒に生活している身体障がい者のアクセス権を保障するものです。

盲導犬の育成を行い、視覚障がい者の活動の場が広がっていく一方で、盲導犬を受け入れる社会自体の理解は十分とはいえません。

盲導犬とともに一人でも出かけられるようになったにもかかわらず、お店や交通機関で利用を断られてしまっは何の意味もありません。受け入れの促進について、どうぞ皆さまのご理解・ご協力をお願いします。



人と盲導犬が笑顔で歩く社会へ

公益財団法人 日本盲導犬協会

https://www.moudouken.net

すべての人に快適な移動の自由を提供 ～福祉車両「ウェルキャブ」販売～

「すべてのお客様に移動する自由をもっと身近に、もっと快適に感じてもらいたい。」という願いを込めて、2013年4月につくば西大橋店にウェルキャブステーションを設置しました。

トヨタの福祉車両(ウェルキャブ)は、お客様一人ひとりの様々な事情や使い方に合わせたカスタマイズによるきめ細やかな対応が可能です。

ウェルキャブステーションでは、ウェルキャブ車両の常設展示や専門スタッフによる適切なアドバイスを行っています。

Welcab ウェルキャブステーション

茨城トヨペットつくば西大橋店



※写真はイメージです

特集

クルマが 納車 されるまで



メーカーから輸送され、販売店オプション等の取付作業のため一時保管されているクルマたち。広大な敷地には最大約2,000台のクルマが保管可能。(撮影協力：(株)ハタヤモータープール)

昨今の新型コロナウイルスや慢性的な半導体不足、および不安定な海外情勢等の複合的な要因により、お客様には多大なるご迷惑をおかけしますことを心よりお詫び申し上げます。

依然、車種によっては長納期の状態が続いておりますが、これまで以上に自分の注文したクルマが今どこにあるのか気になっている方も少なくないと思います。

ここでは新車のご購入手続きが完了してから、どのような行程を経てクルマがお客様の元に届くのか、そのプロセスをご紹介します。

当社が取り扱うトヨタの新車は東北・関東・中部・

近畿・九州など全国の工場で生産されています。

完成した車両は、車両専用船・キャリアカー等で茨城県内の(株)ハタヤモータープール 新車点検センターに運ばれ、ご注文内容に応じた販売店オプション(ナビゲーション・ドライブレコーダー・ボディコーティングなど)の取り付けを行います。

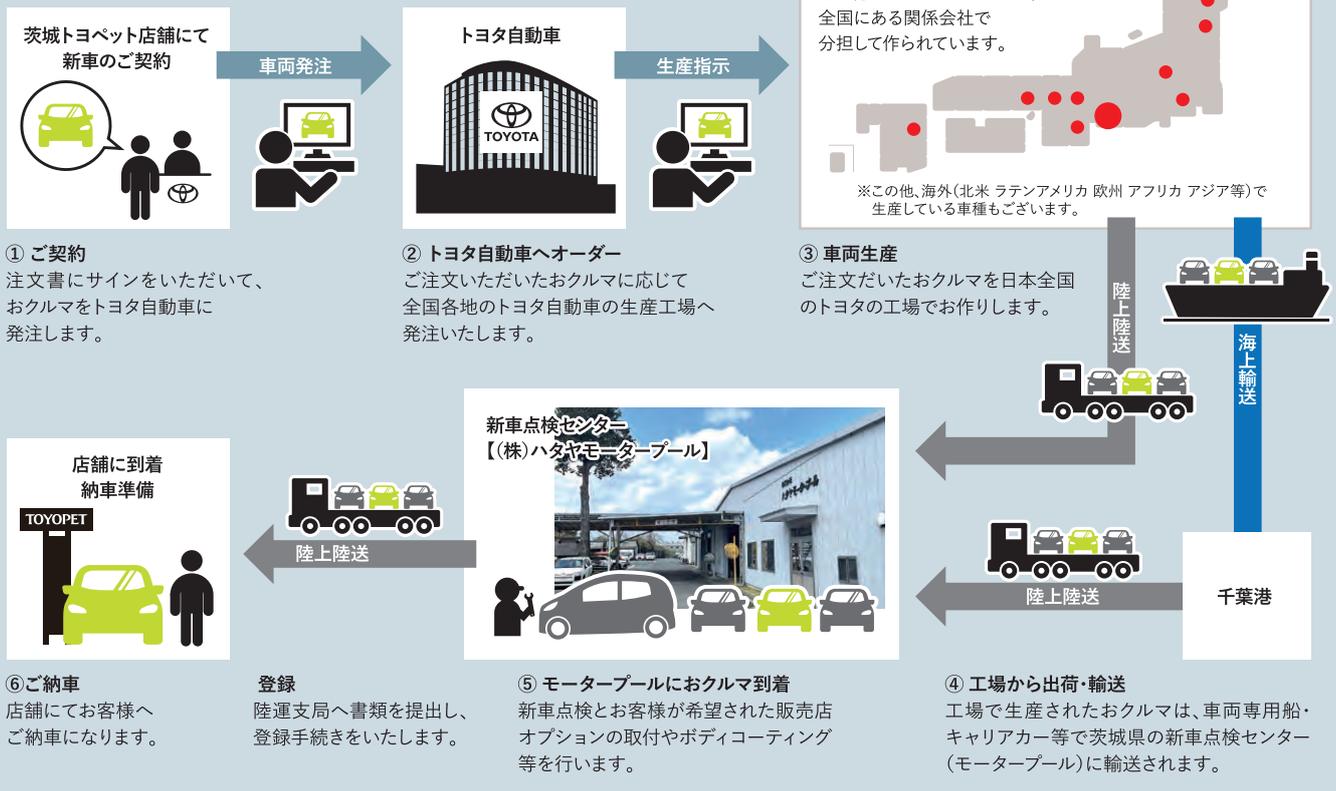
オプション取り付けが完了すると、新車点検ラインにて最終的検査を行い、お客様のご注文通りの仕上りになっているか、外観・内観・各部機能などを点検します。

最終検査が済んだ車両はキャリアカーで県内各地の店舗に配送され、お客様へ納車となります。



港や店舗、中継地などへクルマを輸送するキャリアカー

クルマと一緒に安心をお届けします ご注文のおクルマのご納車までのプロセス



環境保護

地球環境の保護と
豊かな社会を実現するために



かけがえない地球環境を守り、次の世代へと残していくことが
現在を生きる私たちの重要な使命だと考えます。

私たちはより環境にやさしい企業を目指し、自然とのふれあいや
クリーンアップ活動等に取り組んでいます。

環境活動の国際規格、ISO14001認証取得

ISO14001とは、企業や組織が環境保護に取り組むために
ISO*が定めた環境マネジメントシステムの国際規格のことです。

*International Organization for Standardization: 国際標準化機構



資源枯渇や地球温暖化など、地球環境問題に対する取り組みは現代を生きるすべての人が考えなければならない問題です。

節電を心がける、ゴミを減らすように分別をする、買い物もエコバッグを持参する。それは個人も企業も同じことです。だからこそ、個人よりも環境に対する負荷の大きい企業や自治体は、環境へ負荷をかけない仕組み＝「環境マネジメントシステム」を構築する必要があります。それを国際的な規格として制定し認証するような仕組みにしたものが、環境マネジメントシステム【ISO14001】です。

茨城トヨペットでは、2001年4月に「環境委員会」及び委員会をサポートするチームとして「ISO推進事務局」を発足、環境マネジメントシステムの取り組みを開始しました。

「販売」「整備」「廃棄」にかかわる過程での環境影響に対応するため、【低燃費・低排出ガスの車への提供】【廃油・廃部品の適正処理】【テクノショップの管理】【CO₂の削減】などの環境目標を設定しました。(P17・18参照)

設定した環境目的・目標が計画通りに進んでいるか、決まりや手順がきちんと運用されているかをチェックするため、毎年10～11月に【内部監査】、翌1～2月には当社の環境マネジメントがISO14001の要求事項に適合して構築・運用されていることを確認する第三者機関による【定期審査】が行われます。

茨城トヨペットでは、2001年度にまず2店舗の「ISO14001」認証を取得。
2002年度に本社及び8店舗、2003年度には10店舗、と順次認証範囲を拡大、
2023年4月現在本社及び36事業所のISO14001認証を取得しています。

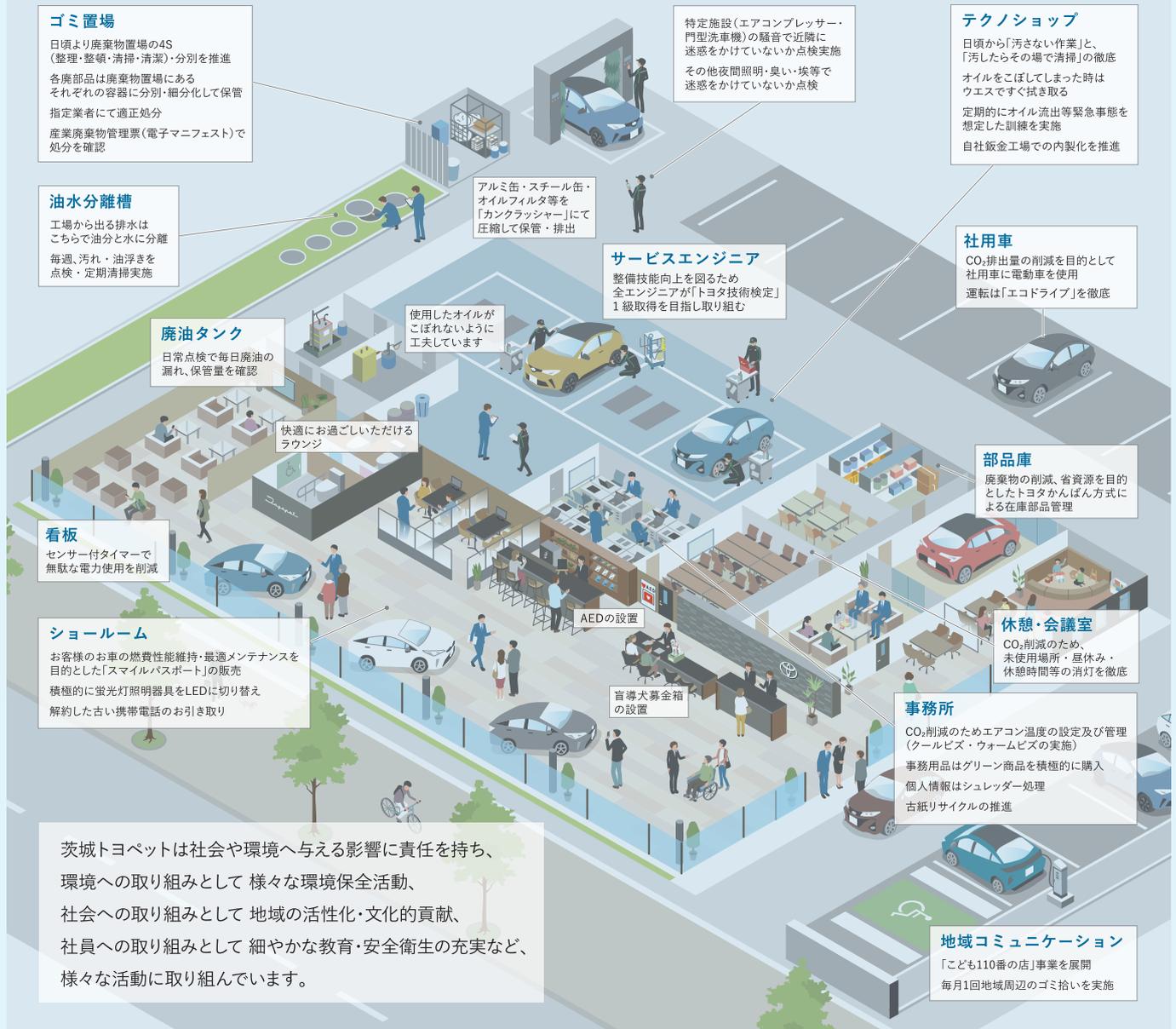
■ ISO14001認証拠点

本社、水戸千波店、大宮バイパス店、日立田尻店、日立森山店、牛久南店、筑西神分点、石岡東大橋店、江戸崎店、古河東牛谷店、坂東店、大津港店、大子バイパス店、笠間大鳥居店、下妻店、常総石下店、神栖店、守谷松並店、ひたちなか昭和通り店、潮来店、テクノセンター、U-Carセンター6号水戸店、笠松運動公園店、小川野田店、つくば西大橋店、6号取手店、竜ヶ崎出し山店、ひたち野うしく店、神栖知手店、土浦荒川沖店、つくば東大通り店、土浦並木店、U-Carセンター6号みのり店、つくば学園の森店、GR Garegeつくば、レクサスつくば、レクサスCPOつくば(2023年4月現在)



	茨城トヨペット CSR活動履歴(概略)
1956年(昭和31年)	11月 水戸市五軒町に会社創立
1964年(昭和39年)	本社現在地に移転
1976年(昭和51年)	ふれあいグリーンキャンペーン開始
1990年(平成2年)	茨城トヨペット杯ゲートボール大会開始
1991年(平成3年)	本社・水戸千波店 新社屋完成
2001年(平成13年)	ISO推進事務局開設 環境マネジメントシステム取組開始
2002年(平成14年)	自動車ディーラーとして県内初のISO認証取得
2003年(平成15年)	茨城トヨペット杯小学生ドッジボール大会開始 ISO14001 定期審査、新たに本社及び8店 認証取得
2004年(平成16年)	ISO14001 定期審査、新たに10店 認証取得
2005年(平成17年)	ISO14001 更新審査 登録更新、新たに2店 認証取得 レクサスつくば開店
2006年(平成18年)	ISO14001:2004(改訂規格)に移行 市町村合併により一部店舗名称変更
2007年(平成19年)	ISO14001 定期審査、新たに1店 認証取得 全社で環境マネジメント取組開始 セーフティキャンペーン開始
2008年(平成20年)	ISO14001 更新審査(2回目)、新たに4店 認証取得 環境目標に「販売実績に応じて盲導犬基金へ寄付」を追加 第1回 介助専門士養成講習実施 茨城エコ事業所に全店認定
2009年(平成21年)	ISO14001 定期審査、新たに2店 認証取得 古紙リサイクル開始 日本盲導犬協会へ前年実績からの積立金を寄付 第2回 介助専門士養成講習実施
2010年(平成22年)	ISO14001 定期審査、新たに1店 認証取得 日本盲導犬協会へ前年実績からの積立金を寄付 第3回 介助専門士養成講習実施 太陽光発電を導入したひたちなか昭和通り店オープン
2011年(平成23年)	ISO14001 更新審査(3回目)、新たに1店 認証取得 東日本大震災発生 日本盲導犬協会へ前年実績からの積立金を寄付 トヨタ原体験プログラム(現トヨタ未来スクール)開始
2012年(平成24年)	太陽光発電を導入した神栖知手店オープン 日本盲導犬協会へ前年実績からの積立金を寄付
2013年(平成25年)	ISO14001 定期審査、新たに4店 認証取得 ウェルキャブステーション つくば西大橋店に設置 日本盲導犬協会へ前年実績からの積立金を寄付
2014年(平成26年)	ISO14001 更新審査(4回目) 日本盲導犬協会へ前年実績からの積立金を寄付
2015年(平成27年)	関東・東北豪雨により鬼怒川堤防決壊 日本盲導犬協会へ前年実績からの積立金を寄付
2016年(平成28年)	ISO14001 定期審査、新たに3店 認証取得 日本盲導犬協会へ前年実績からの積立金を寄付
2017年(平成29年)	ISO14001 更新審査(5回目) 太陽光発電、多目的スペース、災害時用井戸を導入したつくば学園の森店オープン 日本盲導犬協会へ前年実績からの積立金を寄付
2018年(平成30年)	ISO14001:2015(改訂規格)に移行 日本盲導犬協会へ前年実績からの積立金を寄付
2019年(令和元年)	ISO14001 定期審査、新たに1店 認証取得 日本盲導犬協会へ前年実績からの積立金を寄付
2020年(令和2年)	ISO14001 更新審査(6回目)
2021年(令和3年)	日本盲導犬協会へ前年実績からの積立金を寄付 ISO14001 定期審査、新たに1店 認証取得
2022年(令和4年)	ISO14001 定期審査 日本盲導犬協会へ前年実績からの積立金を寄付
2023年(令和5年)	ISO14001 更新審査(7回目)

持続可能な社会を目指して 環境活動・社会貢献活動を展開しています



社用車を電動車に



茨城トヨペットは地球環境保護活動の一環としてCO₂排出量の削減に取り組んでいます。社用車として、「プリウス」や「MIRAI」など電動車を多数使用しています。

生ごみを堆肥に



本社社員食堂から出た生ごみは生ごみ処理機で処理することで大幅なごみ減量化、ごみ処理費用の削減になります。年間約2,400kg排出していた生ごみは80%以上が水と炭酸ガスに分解され、発酵分解した残りは有機肥料の原料になります。

茨城エコ事業所認定



茨城エコ事業所登録制度は、事業所の規模や業種等に関わらず、環境に配慮した取組を行う事業所を、茨城県が「茨城エコ事業所」として登録して、その取組を広く県民の皆様にご紹介することにより、環境に配慮した取組の普及・啓発を図り、環境への負荷の少ない循環型社会づくりに寄与することを目的としています。茨城トヨペットは、2008年10月14日付けで茨城エコ事業所として登録認定されました。

環境報告



1 低燃費・低排出ガス車の社会への提供

1997年、世界初の量産型HEVとして誕生したプリウス。発売以来、日本国内はもとより世界中でたくさんの方々に愛されています。

茨城トヨペットでも、この世界最高の環境性能を追求したプリウスをはじめとする環境負荷の低いHEV・PHEV・FCVなどの電動車をお客様にお届けしています。

2022年度 電動車販売台数 **4,169台**

2 安心品質のお車の提供

下取したお車の徹底した事前点検と社内クリーニング、エンジンオイルやエレメント交換等の整備を行い、次のお客様に高品質かつ安心の中古車をお届け。トヨタならではの「3つの安心※1」をセットにしたトヨタ認定中古車も数多く取り揃えるなど、環境保全型ビジネスを推進しています。

※1:車両検査証明書、まるごとクリーニング、ロングラン保証

2022年度 U-Car小売台数 **2,673台**

3 お客様のお車の燃費性能維持

茨城トヨペットには、レースや技術コンクールに出場し、腕を磨いた整備のプロフェッショナルが数多く在籍しています。トヨタブランドの高い品質と確実な作業で、お客様の愛車の点検・車検整備をスピーディに実施いたします。

また、燃費性能維持、お客様が快適にお車をご使用いただくために、定期的なメンテナンスをサポートするメンテナンスパックメニュー「スマイルパスポート」をお勧めします。



2022年度 車検入庫台数 **35,072台**

スマイルパスポート 会員数※2 **43,361件**

※2:2023年4月現在

4 省電力



新店舗や改築時の省電力タイプ照明・冷暖房器具の採用、こまめな消灯やクールビズ・ウォームビズの導入による冷暖房の温度調整などの励行を行い省電力に努めています。

2022年度の1店舗あたりの使用電力量は2001年度比で67.5%でした。

使用電力量推移

	01年度[基準年]	19年度	20年度	21年度	22年度
使用電力量	4,549,165	3,508,406	3,406,465	3,575,363	3,584,356
1店舗当たり(2001年比)	126,366	81,591 (64.6%)	79,220 (62.7%)	85,128 (67.4%)	85,342 (67.5%)

単位:kwh

5 燃料使用量

当社で使用したガソリン、軽油、灯油などの燃料を原油に換算して年度ごとの使用量を把握しています。社用車、営業車などの車両用としての使用が主な内訳です。低燃費車プリウスの導入やエコドライブなどによる削減を実施しています。

2022年度の1店舗あたりの原油換算使用量は、2001年度比で51.3%でした。

燃料使用量推移

	01年度[基準年]	19年度	20年度	21年度	22年度
原油換算使用量	1,081,007	543,028	574,739	617,177	631,846
1店舗当たり(2001年比)	30,028	13,245 (44.1%)	14,018 (46.7%)	15,053 (50.1%)	15,411 (51.3%)

単位:L

6 CO₂排出量

電力使用量、燃料使用量削減の結果、1店舗あたりのCO₂排出量も削減しています。

2022年度の1店舗あたりのCO₂排出量は、2001年度比で53.4%でした。

CO₂排出量推移

	01年度[基準年]	19年度	20年度	21年度	22年度
CO ₂ 排出量	5,340	3,226	2,872	3,329	3,247
1店舗当たり(2001年比)	148.3	75.0 (50.6%)	70.0 (47.2%)	81.2 (54.7%)	79.2 (53.4%)

単位:t-CO₂(二酸化炭素トン):さまざまな温室効果ガス(CO₂、メタン、一酸化二窒素など)をCO₂に換算し、t(トン)単位で表示した値。

※2006年度より政府によって公表された電力会社の実績値を用いて算定を行うことが出来るため、電力部分の算定に出光興産公表値を使用しています。



7 廃油・廃部品の適正処理

環境保全は発生源対策が基本と考え、事業活動全般の領域で省資源化・分別、リサイクル推進と廃棄物の削減、汚染の予防に努めています。

お車を快適な状態に保つための点検・整備の結果、廃油、冷却水、ガラスくず、廃プラスチック、バンパー、バッテリー、金属類とさまざまな廃棄物が発生します。これら廃棄物の発生量をおさえるため、廃棄物保管所では廃棄物の種類ごとに分別することでリサイクルしやすくしています。

また、缶圧縮機を全拠点に配備。オイルの缶やオイルフィルターは圧縮することで容量を大幅に減少します。このような活動の結果、2022年度の1店舗あたりの産業廃棄物処理費用は2001年度比50.4%まで圧縮できました。



油水分離槽
工場から出る排水は
こちらで油分と水に分離



ゴミ置き場
日頃より廃棄物置き場の4S
(整理・整頓・清掃・清潔)・分別を推進

廃棄物の種類と主な処分方法

古紙・ダンボール・新聞紙・雑誌等	新たな紙製品に再生
樹脂バンパー【トヨタ車のみ】	自動車部品に再生
バッテリー	回収後リサイクル
廃油	重油に再生
金属部品	金属製品に再利用
プラスチック類／ガラスくず及び陶磁器くず／ 電池／冷却水／シュレッダーくず	回収後、適正に処分 (一部リサイクル)
タイヤ	工場燃料に利用
ガラス／蛍光管	ガラス製品に再生

産廃処理費用推移

	01年度【基準年】	19年度	20年度	21年度	22年度
産廃処理費用	20,611	12,311	11,464	12,451	12,207
1店舗当たり (2001年比)	606	308 (50.8%)	280 (46.1%)	311 (51.4%)	305 (50.4%)

単位：千円

※前号の産廃処理費用の数値に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

8 古紙リサイクルの推進

茨城トヨペットでは、オフィスから出る紙をリサイクルする取り組みを2009年度より始めました。

2022年度は樹齢30年の木 約2,082本分※3がリサイクルできました。

2022年度 古紙リサイクル量(全店) **104,090kg**

※3:50kgの紙は樹齢30年の木1本分と言われています。

9 トヨタ技術検定

トヨタの技術力を支えるサービススタッフ。茨城トヨペットには技術を磨いた整備のプロフェッショナルが数多く在籍しています。

2022年度 トヨタ技術検定1級保有状況

保有者数	保有者比率	店舗あたり
183人	67.0%	4.6人

2022年度 トヨタエスティメーション(钣金見積もり)検定1級保有状況

保有者数	1級在籍店舗比率
139人	100%



●2001年度は環境マネジメント導入開始年のため、全てのデータで基準年度としています。

環境目的・目標

	環境目的	環境目標	環境影響	評価
ビジネスの推進	低燃費・低排出ガス車の社会への提供	低燃費車・電動車の普及	地球温暖化防止 大気汚染予防	△
	安心品質のお車の提供	U-Car販売の促進		△
	お客様のお車の燃費性能維持	車検入庫台数 目標達成		△
	安心品質のお車の提供・省資源の推進	钣金整備台数の向上及び再修理率の低減	資源枯渇低減	△
活動	盲導犬基金への協賛	新車受注毎の積立	社会貢献 盲導犬の普及	△
		U-Car販売毎の積立		
		車検ご入庫毎の積立		
環境保全	CO ₂ の削減	電気使用量の削減	地球温暖化防止／資源枯渇低減	○
		燃料使用量の削減		○
	省資源の推進	古紙リサイクルの推進	森林保護	○
		蛍光灯リサイクルの推進	資源枯渇低減	○
テクノシヨップ	廃棄物の適正処理	リサイクルの推進と廃棄物の削減	生活環境の保全／公衆衛生の向上	○
	エアーコンプレッサー・洗車機の騒音管理	運用手順の遵守、自主点検の実施	健康障害予防	○
	緊急事態への対応	油水分離槽の点検・定期清掃実施	水質保全／公害防止	○
		緊急事態発生時の対処方法訓練実施		○



人の心に緑の憩いを。 第46回 ふれあいグリーンキャンペーンを開催

茨城トヨベツはより良い地球環境の実現を目指し、良き企業市民となれるよう社会・地域に根ざした様々な取り組みを行っております。

“ふれあいグリーンキャンペーン”は緑豊かな街づくりをめざした社会貢献活動として、1976年(昭和51年)よりトヨタ自動車と共同で毎年展開しています。

エコという言葉が騒がれていなかった40年以上前から、これまでに県内の各自治体に3,900本*を超える苗木を寄贈して参りました。また、環境問題に積極的に取り組む企業として、グリーンキャンペーンとあわせて“地球にやさしいエコカー”を取扱うディーラーであることをPRし、MIRAI・プリウス・アクアなどのエコカーの告知活動を展開しております。

令和4年10月21日(金)に行われた47回目の苗木寄贈式は、水戸市長 高橋 靖様、茨城トヨベツ株式会社 幡谷会長、幡谷社長、トヨタ自動車株式会社 吉野 克裕様、現在、芸術家に転身された橋 幸夫様、緑の大使としてタレントの岡田 朋峰様他、関係者が出席して行われ、水戸市新水戸市民会館にアジサイ・マツゲなど約200本の樹木を寄贈いたしました。

地球環境問題に対する取り組みは、現代を生きるすべての人が考えなければならない問題です。自動車を販売する会社として、様々な地球環境問題に対して真剣に取り組んでいくことが、日頃ご愛顧いただいているお客様や社会に対する私たちの使命であると考えています。

* 令和4年度現在 累計実績3,958本

- 令和4年10月21日(金) 開催
- 主 催：茨城トヨベツ株式会社 ■ 共 催：トヨタ自動車株式会社
- 協 賛：公益社団法人 国土緑化推進機構 ■ 寄贈先：水戸市
- 会 場：新水戸市民会館 ■ 寄贈物：アジサイ・マツゲ他 約200本



茨城県環境保全プロジェクト トヨタソーシャルフェス2022に参加



2022年10月23日(日)にトヨタソーシャルフェス2022に参加し、大洗サンビーチの清掃を行いました。

大洗サンビーチ海水浴場は広大な砂浜に覆われた遠浅のビーチで、全国初のバリアフリービーチとして有名です。海水浴シーズンは特に多くの人で賑わいますが、その一方で海岸に残されるゴミの問題は解決していません。海岸の清掃活動を通して地域環境への理解を深め、身近なゴミの問題について



みんなで考えました。

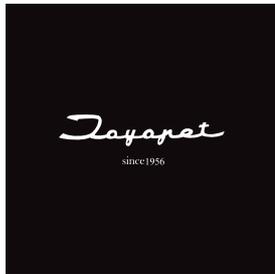
清掃活動の後は、拾ったマイクロプラスチックを使った工作活動(キーホルダー・マグネットの制作)も行いました。

- 令和4年10月23日(日) 開催
- 主 催：特定非営利活動法人 大洗海の大学
- 共 催：茨城新聞社
- 後 援：大洗町
- 協 力：大洗サーフ・ライフ・セービングクラブ

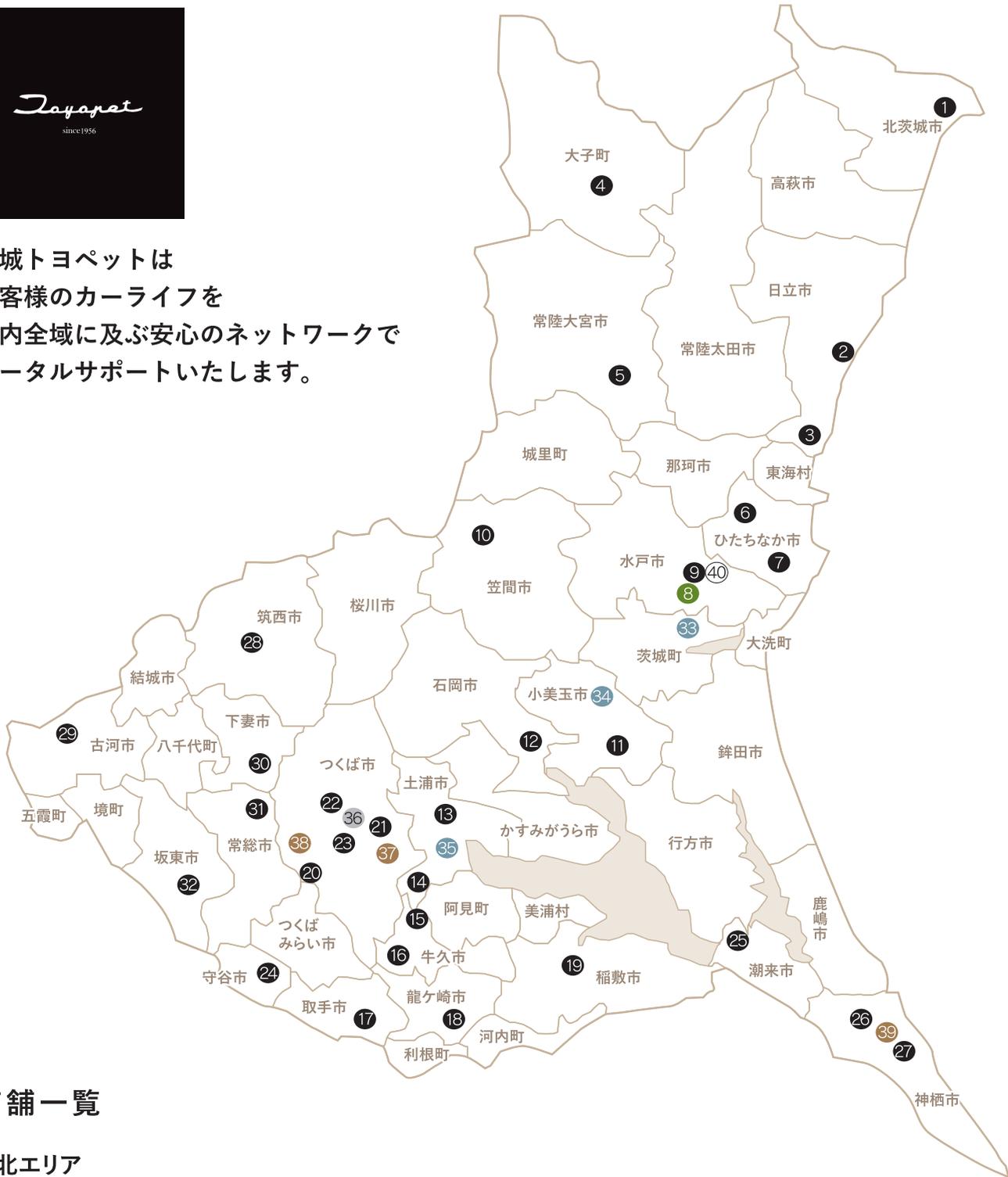
ユニフォームを回収し、 資源として再利用



茨城トヨベツでは、使用済みのユニフォームを回収し、廃棄物ではなく資源として再生し、自動車の断熱材や防音材等、新たな製品にリサイクルする活動に取り組んでいます。限りある資源を有効に活用し、持続可能な社会の実現に寄与していきます。



茨城トヨペットは
お客様のカーライフを
県内全域に及ぶ安心のネットワークで
トータルサポートいたします。



店舗一覧

県北エリア



① 大津港店 ★
北茨城市関南町神岡下339-1
0293-46-5551



② 日立田尻店 ★
日立市田尻町4-36-1
0294-42-9611



③ 日立森山店 ★
日立市森山町5-1-8
0294-52-6306



④ 大子バイパス店 ★
久慈郡大子町池田1312-2
0295-72-5671



⑤ 大宮バイパス店 ★
常陸大宮市泉517-6
0295-52-1171



⑥ 笠松運動公園店 ★
ひたちなか市佐和2335-7
029-285-4111



⑦ ひたちなか昭和通り店 ★
ひたちなか市中根888-1
029-272-5671

県央エリア



⑧ アートタワー水戸店※
茨城県水戸市千波町1987
029-387-3373



⑨ 水戸千波店 ★
水戸市千波町2028-1
029-241-1121



⑩ 笠間大鳥居店 ★
笠間市飯合100-1
0296-74-4511



⑪ 小川野田店 ★
小美玉市川戸1353
0299-58-2831



⑬ U-Carセンター6号水戸店 ★
東茨城郡茨城町長岡4255-3
029-292-7221



⑭ U-Carセンター6号みのり店 ★
小美玉市西郷地1531-7
0299-48-2070



④〇 WASH&FOLD 水戸千波店
水戸市千波町1913-5
029-241-4040

※店舗改築のため仮店舗へ移転しています。詳しくはホームページをご覧ください。

県南エリア



12 石岡東大橋店 ★
石岡市石岡2930
0299-23-2291



13 土浦並木店 ★
土浦市上坂田1468
029-862-3111



14 土浦荒川沖店 ★
土浦市荒川沖471-1
029-842-1234



15 ひたち野うしく店 ★
牛久市ひたち野東1-24-4
029-871-4361



16 牛久南店 ★
牛久市牛久町822
029-873-3936



17 6号取手店 ★
取手市井野台4-1-1
0297-74-8111



18 竜ヶ崎出し山店 ★
龍ヶ崎市野原町79
0297-62-7631



19 江戸崎店 ★
稲敷市江戸崎甲2561-1
029-892-5671



20 つくばみどりの店
つくば市みどりの2-39-3
029-836-8868



21 つくば東大通り店 ★
つくば市妻木745-2
029-852-3234



22 つくば学園の森店 ★
つくば市学園の森3-7-1
029-856-7211



23 つくば西大橋店 ★
つくば市西大橋648-3
029-858-2850



24 守谷松並店 ★
守谷市松並2000-42
0297-46-3511



35 U-Carセンター土浦高津店
土浦市上高津726-3
029-823-6116



36 GR Garageつくば ★
AREA298
つくば市学園の森3-2
029-859-5586



37 レクサスつくば ★
つくば市竹園1-4-3
029-855-7301



38 レクサスCPOつくば ★
つくば市西岡418-59
029-861-1150



環境活動の国際規格、ISO14001認証取得

茨城県内のトヨタディーラー唯一のISO取得。
茨城トヨペットはこれからも積極的に環境問題に取り組んでいきます。

★ISO認証店舗(適用範囲:自動車の販売、整備及び修理)

鹿行エリア



25 潮来店 ★
潮来市上戸304-1
0299-64-6010



26 神酒店 ★
神栖市堀割3-3-8
0299-92-5420



27 神栖知手店 ★
神栖市知手3106-19
0299-95-1121



39 レクサスCPO神栖
神栖市木崎2406-181
0299-93-2322



茨城トヨペットは全店で
au携帯電話がご購入いただけます。

※GR Garage つくば、レクサスつくば、レクサスCPOつくば、
レクサスCPO神栖、WASH&FOLD水戸千波店を除く。

県西エリア



28 筑西神分店 ★
筑西市神分393-1
0296-24-5311



29 古河東牛谷店 ★
古河市東牛谷492-5
0280-98-0500



30 下妻店 ★
下妻市下661
0296-43-3706



31 常総石下店 ★
常総市新石下1648-1
0297-42-0567



32 坂東店 ★
坂東市辺田1402-73
0297-36-0567



2024年夏
茨城トヨペット アートタワー水戸店は
生まれ変わります

画像は完成予想イメージです。
建物の形状・色調・植栽等は変更になる場合があります。

8 アートタワー水戸店

店舗改築にともない、2023年5月に仮設店舗に移転いたしました

茨城トヨペット アートタワー水戸店は、2024年夏完成を予定に店舗改築のはこびとなりました。
新店舗は現店舗地で建て替えとなるため、改築工事期間中は、下記の仮設店舗にて営業させていただきます。
新店舗完成までの期間中は大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

仮設店舗

水戸市千波町1987
(茨城ヤナセ メルセデス・ベンツ水戸跡地)

029-387-3373

上記は仮設店舗の電話番号です。移転前の電話番号にお掛けいただいた場合でもこちらへ転送されます。
弊社よりご連絡させていただきました場合には左記の番号が表示されますことをご了承くださいませ。

会社概要

Corporate Information



本社

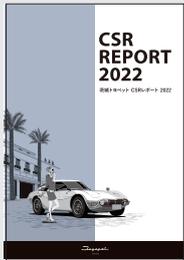
設立 1956(昭和31)年11月1日
代表取締役会長 幡谷 定俊
代表取締役社長 幡谷 俊一郎
資本金 5,000万円
従業員 765人(2023年4月現在)

営業状況(2023年3月期)

売上高 376.9億円
新車販売台数 7,209台
U-Car小売台数 2,673台
車両総整備台数(社外) 207,751台
車検整備台数 35,072台

事業内容

トヨタの新車販売、ウェルキャブ販売、各種優良中古車販売(国産車)、自動車関連商品販売、メンテナンスパック:スマイルパスポート販売、自動車の点検・整備・修理業務、自動車買い取り(T-UP)、自動車リース、保険代理店(損害保険・生命保険等)、モバイル商品取扱い(au携帯電話販売等)、レクサス事業、カーシェアリング事業、洗濯代行・コインランドリー事業、キャンピングカー事業



Message From Readers

前号(茨城トヨペットCSRレポート2022)にてお客様から寄せられた

ご意見・ご感想

本誌へのご意見・ご感想

- 「地域防災アカデミー」に興味を持ちました。防災について、家族で考えるよい機会になりました。
- 社長、副社長が直接お顔を出していらっしゃるところに、貴社の誠実さを感じました。
- 社員食堂の生ごみを堆肥にしていることは、素晴らしい取り組みだと思います。
- 店内マップが見やすく、どこで何がどうやっているのか良くわかります。素晴らしい作り込みだと思いました。
- 毎年のようにプレゼントをいただき、エコバッグとして使用しています。今年のトートはお弁当を入れて持ちたいです。
- 「ドッジボール大会」「トヨタ未来スクール」など小学生向けの取り組みをなさっていることを知り、大人だけでなくあらゆる世代への地域貢献を知りました。
- 高齢化が進む中、洗濯代行サービス事業のサービスは時代をつかんでいると思いました。
- 防災関連で車を活用する事を詳しく知りたと思いました。災害が起きた時に避難所へ行くことは躊躇するので、車をうまく使えたら、小さな子供やお年寄りがある私たちはとても安心だと思いました。
- 「SDGs」という言葉が登場する前から、産業廃棄物の分別や廃油の管理等、創業以来取り組んでいる貴社の使命感の高さはすごいものです。
- たくさんの人に読んでもらいたと思いました。これからも環境保護やその他の取り組みを期待しています。
- 環境への取り組みについて、具体的な数字で説明されているのがわかりやすかったです。
- すてきな冊子としてまとめられていました。表紙・壁紙ダウンロードの絵が、好きなデザイナーさんのものだったのでうれしかったです。
- 車の購入を決めました。あらかじめ本誌を読み、トヨペットを選んで良かったと思いました。
- 表紙のトヨタ2000GTと1ページ目のスープラのレイアウトは、趣がありとても良いと思います。
- 貴社の社是の「誠実」「親切」「スピード」。これは生活する上で大切な言葉で、子供に教えています。
- 毎年楽しく拝読しております。生活に反映される言葉がいくつもあり、とても力になります。

読者の皆様が 環境や地域社会へ取り組んでいること

- 質素節約に勤めています。生活の中で、持続可能な事を意識し、行動しています。
- 家の中でのフードロスに気をつけて、買いすぎ等に気をつけています。野菜も最後まで使い切り、残ったご飯も次の日にチャーハン、雑炊、と考えながら食べています。
- サラリーマン時代の経験をアドバイスしています。5S+3M+品質管理など。
- 資源開発のリサイクル活動を行っていますが、まだまだです。燃えないもの、ゴミ等が出されています。
- ゴミの分別化に夫と二人で取り組んでいます。積極的に洗ったり小さくハサミを入れたり、夫の方が楽しんで取り組んでいます。
- 盲導犬協会、ユニセフ募金、犬猫殺処分をゼロにする募金をしております。
- 資源物回収を行っている学校へ積極的に協力しています。家族にも、分別することの大切さを理解してもらっています。
- 生ゴミは家庭菜園に穴を掘って埋めています。紙はリサイクルにしてトイレトーパーと交換しています。グリーンカーテンで冷房節約も!みんなの地球ですもの!
- 定年後「畑」を始めましたが、「SDGs」はまさしく野菜作りの根本を成しているのを実感します。種→成長→野菜収穫→「残滓(ざんし)」が土の肥やしとなり。毎年この動きが循環するのも「SDGs」です。
- 防災士の資格を取り、自治会で防災訓練を実施しています。
- 食品を必要以上に買わないようにしています。自分の体もエコにしていきたいです。
- 電気は太陽光発電を導入、毎日の消費量をチェックしています。
- 勤務先の周辺の清掃ボランティアをしています。お揃いのウィンドブレーカーを着用するので宣伝効果も。
- 生ゴミコンポストで肥料づくりをしています。
- とにかく最後まで活用する事です。ただでは捨てません。

茨城トヨペットへのご意見・ご要望

- 社長さんが変わられたとのこと、若い視点ならではの新しい取り組みに期待しています。
- マスクをしていても笑顔で接客して下さるのが伝わってきます。いつも親切、丁寧に対応して下さいありがとうございます。最高です!!
- 「シエンタ」Z型購入決定しました。ガソリン満タンなら5日間も車が発電所となり、今後「今まで経験したことのない自然災害」が多数予想される状況下では、先を見越した設備です。こういった発想を今後も継続して下さい。
- 定期点検で半年ごとにお店にいきますが、いつも感じの良い対応をして下さいます。ピピットも親切に説明してもらえて、私でもわかりやすく、たよりにしています。
- コロナ前に開催されていた子供向けイベントを再開してほしいです。たくさんのブースがあり、子供たちが楽しみにしていました。子供の顔写真入り免許証などおもしろかったです。
- 災害時、プリウスなどのEV車から家の電気を2〜3日分まかなえると聞いたので、しくみや発電の仕方、バッテリーのつなぎ方などを特集してほしい!
- 試乗車が増えるととてもいいと思います。いただいたカレンダーもとてもいいです。
- 近年、店舗などとても素敵になったなあと感じています。
- イベントなどを行って、店内に入りやすい雰囲気作りをお願いします。丁寧に説明等もして頂けると助かります。マスクで良く聞こえないこともあります。
- 店内のアロマの香りがとても素敵です。つい長居したくなります。
- サポートプランの説明がもう少しわかりやすいとありがたいです。
- 車の点検等、紙での記録用紙をもらいますが、タブレット等で確認・承認ではいかがでしょうか?家に持ち帰っても捨てるだけです。
- 車の買い替えで、色々各社の販売店を回りましたが、結局トヨペットさんで購入させていただくことにしました。
- 店が外から見ても高級感があり、いいなと思います。
- 親身になってくださり、迅速丁寧な対応にいつも感謝しております。子供も行きたがる素晴らしいお店です。
- 店舗のないエリアへの新規開業、高齢者向けの運転時の留意事項をオンラインでセミナー、定期点検やバッテリー・タイヤ交換時の料金の明確化、などを希望します。

たくさんの貴重なご意見・ご感想・ご要望、ありがとうございました。

ご意見・ご感想をお聞かせください

「茨城トヨペット CSRレポート 2023」を最後までお読みいただき、ありがとうございました。

皆様からのご意見・ご感想などをお聞かせください。いただいたご意見・ご感想は今後の改善に活かしてまいります。

ご意見・ご感想をいただいた方の中から
毎月抽選で10人の方に

茨城トヨペット
オリジナル

クルリト デイリーリュックバッグを
1つプレゼント致します。



MOTTERU®

本体/約430×350×190(mm)
持ち手/約65×175(mm)
容量:約22L 素材:ポリエステル



ゴムバンドでくるとコンパクトにまとめて持ち運びができるエコバッグです。荷物を入れた際には手持ちとリュックサックの2WAYで使用でき、リュックとして使えば両手が空くので、忙しい子育て世代にもおすすめ。

■デザインは変更になる場合があります。

■抽選期間:2023年6月~2024年5月

■当選の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

応募要項

スマートフォンから応募の場合

右記のQRコードから応募フォームにアクセスし、必要事項とアンケートをご入力の上、送信してください。



応募フォーム

はがきで応募の場合

官製はがきに右下のアンケート応募券を貼り、郵便番号、住所、氏名、年齢(年代)、ご職業、以下のアンケートの答えをご記入の上、下記の宛先までお送りください。

- ① 本誌のご意見・ご感想
- ② 本誌の内容で興味を持たれたところは?
- ③ 環境や地域社会へ取り組んでいる事
- ④ 茨城トヨペットへのご要望

宛先

〒310-8790 水戸市千波町2028-1
茨城トヨペット株式会社
CSRレポート2023事務局 行

■SDGsの観点から、CO₂排出削減等の環境保全を目的として、今号より応募はがきの添付を取りやめスマートフォンからのご応募にいたしました。スマートフォンをお持ちでない方は、大変申し訳ありませんがご自身ではがきをご準備いただき、アンケートをご記入の上ご応募いただきますようお願い申し上げます。

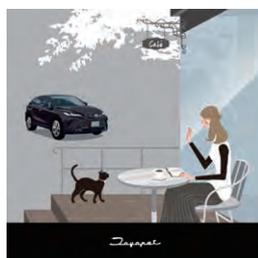
■ご応募はお1人様1回限りとさせていただきます。

■お寄せいただいたアンケートのお答えご意見は、次回発行の「茨城トヨペットCSRレポート」に掲載させていただく場合があります。予めご了承ください。(個人名等は掲載いたしません) ■ご応募いただいた方の個人情報は、プライバシー保護を遵守し、プレゼントの発送業務以外には使用いたしません。

IBARAKI TOYOPET DIGITAL WALLPAPER 2023

人気のクルマがオリジナルデザインの壁紙になりました！
毎月異なる彩り豊かな壁紙データを無料でダウンロードいただけます。

※データサイズは、PC、iPad、iPhone、Androidでご用意いたしております。ご利用の端末に合ったサイズをお選びください。



ダウンロードはこちらから

茨城トヨペット株式会社 本社／水戸市千波町2028-1 <https://www.ibaraki-toyopet.co.jp/>

本社 お客様相談テレホン フリーダイヤル 0120-309567 ※この番号は本社(水戸)に通じます。車検・整備等のお問合せは、お店にお電話下さい。
受付時間：AM9:30～PM5:30(土・日・祝 ～PM6:00)

※弊社は月曜定休日を基本としておりますが、不規則でお休みを頂く場合もございます。定休日の詳細はホームページをご覧ください。